

平成28年度 協賛一覧

京都織物小売協同組合、京都織物小売協同組合青年部、呉服・きものドクター(有)かたやま、(株)高岡、染と織の専門店(株)日野屋、(株)岩田呉服店、きもの処 西田呉服店、(株)パールトーン、きものと帯(株)中山、岩田呉服店(九条)、美しいきもの小林呉服店、呉服・和装小物 ひこ彌、日本きものシステム協同組合、近江屋(株)、(株)川口絹織、京商(株)、京都小泉(株)、(株)京都西川、京朋(株)、久保商事(株)、啓明商事(株)、三京(株)、千切屋(株)、野田(株)、(株)細尾、丸池藤井(株)、丸昭(株)、風呂敷専門店 唐草屋、山音(株)、やまと(株)、(株)マルヒサ、(株)ロマンス小杉、和光(株)、(株)大野録、(有)村山刺繍、(有)染の三喜、藤理工芸(株)、三興染工、染匠市川(株)、木村染匠(株)、染匠あめや藤本、(有)藤沢刺繍、タケハナ染匠、中川正商店、(株)に志山染匠、(株)あをい染所、(有)いち川、(株)白木染匠、京都呉服青年会、藤井絞(株)、(株)松寿苑、仕立の店 藤工房、なをし屋、紫紵(株)、浅見(株)、京のじゅばんや 桂、染繻工芸熊谷、丸太遠藤(株)、(株)多ち花、平林きもの浸落店、菊地(株)、一瀬商店、(株)ゆうび、川勝商事(株)、上坂元七商店、紐の渡敬、カネリ(株)、(株)大塚、(株)安田、栗田捺染、(株)むつろ、和染紅型 栗山工房、室町京正、室町の加納(株)、京都友禅協同組合、京都友禅青年会議所、関谷染色(株)、万葉染織(株)、安藤染工、(株)美和、(株)米村染織、(株)日根野勝治郎商店、(株)創作きもの松華苑、池田染工(株)、(株)小糸染芸、岡山工芸、(株)京染せい山、橋本染工、西陣織物産地問屋協同組合、木村卯兵衛(株)、西陣織物産地問屋協同組合青年部会、(株)川中、(株)長谷川、京都おはりばこ、吉川染匠(株)、きものアルチザン京都、(有)和晃苑、八尋製作所、(株)きたつみ、(株)あけ田、(株)伊と幸、(株)市原龜之助商店、ウライ(株)、加藤萬、DAIICHI CO.,LTD.、松村(株)、(株)ヨアケ、川村博商店、丸染工(株)、三善工芸(株)、(株)菌部染工、株式会社水谷、京友禅 高橋 啓、株式会社絹菱、(株)桂川染匠、株式会社倉染匠

(順不同、敬称略、平成28年10月現在)

後 援

京都府

京都市

公益財団法人京都産業21

財団法人京都和装産業振興財団



京都染織青年団体協議会

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る 丸池藤井ビル内

財団法人京都和装産業振興財団内 TEL.075(211)0605

<http://www.wasou.or.jp/kyogikai/>



京都染織青年団体協議会

ご挨拶

京都呉服青年会から出向し、平成28年度京都染織青年団体協議会の会長を務めました、藤井絞株式会社の藤井浩一です。

平素は当会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

1年を振り返ってみると、「会員大会」、「鴨川納涼2016」、「きものサローネin日本橋2016」、「研修旅行」と、様々な事業を通じ、当会の理念であります【和装振興】に取り組んで参りました。最初の会員大会では、段取りや進行が思ったようにうまく行かず、自分の準備不足を痛感しました。これを踏まえ、毎年行う可能性の高い事業は誰が引き継いでも分かるようマニュアル化に努めました。それは前年度より会長職が各加盟青年会の持ち回り制となり、協議会に精通している人ばかりが会長になる、各業務を引き継ぐという可能性が低くなることに起因しています。実際、今年度より加盟青年会が8団体から2団体減り、6団体となり、マンパワーも減ってきており、効率化を求めるることはより大切になってくると思います。一例として「鴨川納涼2016」では数年前より業務を簡素化し引き継ぎしていたこともあり、おかげさまでたいへんスムーズに事業を行なうことが出来ました。この鴨川納涼の一番の風物詩であります「友禅流しファンタジー」を京都友禅蒸水洗工業協同組合の皆様と連携して行いました。鴨川にて友禅流しの実演と、メインステージにて解説を行い、ショーアップされた友禅流しを観客の皆様に楽しんで頂きましたが、友禅の一工程を知る機会となりました。また加盟青年会の皆様に浴衣や夏物を着てブースを切り盛りして頂いたことは、大きな和装振興となりました。たいへん暑い中ご協力頂き、ありがとうございました。

そして今年度の最大の事業「きものサローネin日本橋2016」への出展がありました。【きもの力・京都の力】というテーマを携え、十数年ぶりに東京での和装振興イベントとなりました。『京都の着物技法と道具展』では、京都の染織の様々な技術や道具を分かりやすく展示。また『きもの寺子屋』では協議会メンバーが自分の専門分野についてワークショップや講座を行い、予想を大きく上回る集客があり、たいへん好評でした。そして、ステージ企画としましてAKB48の小嶋菜月さん、茂木忍さんを『未来の和美人』に認定し、認定書と共に協議会メンバー作の着物を進呈。この様子はSNSでも広く拡散され、明るく華やかで協議会らしい和装振興ができました。やはり一番の商業地であります東京でのきものの発信はたいへん効果があり、終わった後のメンバーの満足度は高く、推し進めて良かったと心から

感じました。その結果を見まして、是非協議会らしく参加を続けて欲しい事業となりました。

「研修旅行」は昨年4月に震災に見舞われました熊本の地へ赴きました。震災から復興しようとする人々や街にふれ、厳しい状況が続く和装業界復活のヒントを学びに行きました。日本酒の蔵元「瑞鷹株式会社」にて、酒づくりの想いと復興への経緯をお聞きしました。古い建物が多く、今でも手付かずの場所がありながら、明るく前向きに酒づくりに取り組む姿勢に感銘を受けました。また国の重要文化財の「熊本城」を見学。立入禁止が続く城内ですが、今しか見ることができない状況をガイドの案内で確認し、復興への期間や方法などを聞き、これからの大変さを痛感しました。1年間、協議会活動を共にしてきた会員相互の更なる交流が深まり、たいへん意義のある研修旅行となりました。

事業を振り返りますと、たいへんなこともございましたが、協議会メンバーの皆様の多大なるご協力を賜り、無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。思えば3年前、私が京都呉服青年会の会長をしていた時に、協議会での会長職持ち回り制が決まりました。14.5年前にお世話になり、様々なことを教えてくれた協議会に何かの恩返しができればとの思いで再び出向し、今年度会長を務めさせて頂きました。その当時と時代は変わっていますが、協議会に取り組むみなさんの姿勢は変わらず、熱く、楽しく明るいものでした。それを実感できたことは、会長をして一番良かったことでした。そして私自身もやっぱり協議会が好きだと再認識しました。多くの経験をし、素敵な思い出が増え、そして何よりもたくさんの素晴らしい仲間に出会えたことは大きな財産となりました。何にも代えがたい時間を与えてくれた協議会に出会い、本当に幸せでした。

きもの業界は厳しい状況が続いておりますが、この京都染織青年団体協議会は、常に業界の元気印、旗振り役であって欲しいと切に願っております。これからも会長経験者として、協議会の存続と発展に一翼を担う所存です。

協議会メンバーはじめ、たくさんの方々のご支援、ご協力を賜り、本当にありがとうございました。

会長 藤井 浩一



会員大会

(6月6日(月) 京都ホテルオークラ)



会長
藤井 浩一

副会長
村井 洋仁

事務総長
澤田 篤志

期首の会員大会では、昨27年度の決算報告と、28年度の事業企画について報告が行われました。例年通り、参加した協議会出前者はすべてきもので出席いたしました。



鴨川納涼

(8月6日・7日 鴨川三条～四条間河川敷にて)

今年度も、去る8月6日(土)・7日(日)の二日間に渡り、鴨川三条～四条間河川敷にて、「鴨川納涼2016」に、和装振興事業として出展いたしました。毎年恒例にはなりますが、各加盟青年団体が趣向を



凝らしたブース出展を行い、全員が浴衣姿で多くのお客様と交流し、大いに盛り上がりました。今年は例年に増して海外からのお客様も多く、記念撮影を頼まれるなど、世界中の観光客からの和装に対する高い評価と熱い視線を再認識するとともに、日本らしい思い出づくりに一役買えたものと自負しております。また、すでに夏の京都の風物詩ともなった、「友禅流しファンタジー」の企画運営を、京都

友禅蒸水洗工業協同組合様のご協力の下、来場のお客様の目を楽しませることができました。主催の京都府様を始め、加盟青年団体、協力団体様、そしてご来場のお客様が一体となり、京都の

夏を盛り上げることができました。また、ブース出展を通して、各加盟団体が連携・協力し、異業種同士の懇親を深めることもでき、よりいっそう協議会内の絆を深めることもできました。最後になりましたが、ご協力頂きました皆さま、ご来場くださいました皆さまに心より厚く御礼申し上げます。



きものサローネ in 日本橋

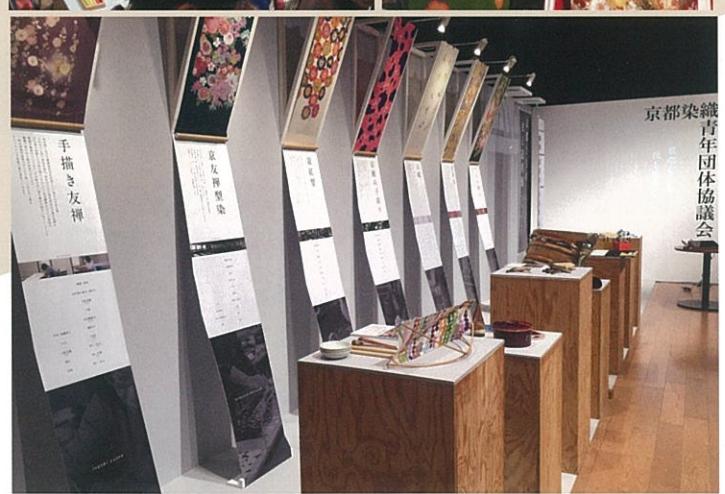
東京日本橋「COREDO室町」(10月28日~30日)



今年度は、藤井会長の鶴の一声の下、秋の事業として、東京出展という大きな挑戦をいたしました。10月28日(金)~30日(日)の3日間、東京日本橋にある「COREDO室町」にて開催された、「きものサローネ2016」に、京都染織青年団体協議会として出展いたしました。協議会からは、各加盟青年団体の職人の



技と知識を披露すべく、「京都きもの 技と道具展」と題し、西陣織や手描き友禅、絞り染めやつまみ細工に至るまで、職人の技法の解説と、道具の展示を行いました。また、各加盟青年団体擁する様々な職人・匠自らが、技法の解説や物づくり体験などのワークショップを企画・開催し、あっという間に整理券がなくなったり、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。これはまさに、和装に携わる様々な団体からなる、京都染織青年団体協議会ならではの展開であり、目の肥えた東京のきものファンをも唸らせる展示になったと自負しております。また、関係各社様のご協力を賜る幸運にも恵まれ、国民的アイドルであるAKB48から、小嶋菜月様、茂木忍様にご登場いただき、MCにテレビ朝日アナウンサーの松尾由美子様を迎え、お三方によるきものトークショーも開催いたしました。これにはきものファンのみならず、AKBファン層である若い男性・女性のご来場者様にも大変興味を持って迎えられ、新たなきものファンの創出に貢献いたしました。小嶋菜月様・茂木忍様には、当協議会より「未来の和美人」に認定させていただき、きものから髪飾りに至るまでご提供差し上げ、お二方には大変お喜びいただきました。まさに、今年度協議会のテーマでもある、「きものの力・京都の力」を、きもの小売発祥の地である日本橋に、大いに知らしめる結果となりました。協議会メンバーは、慣れない東京出張にもかかわらず、スケジュール調整をし、出展者・裏方一丸となってイベントを大成功に導きました。



kimono
salone

研修旅行

(3月4日(土)・5日(日)熊本県熊本市)



今年度の研修旅行は、2016年4月に発生した熊本地震の復興に少しでも貢献すべく、熊本県に赴きました。損壊した国の重要文化財である名城「熊本城」を見学し、その傷跡を肌身で感じまいりました。また、地元の蔵元である瑞鷹株式会社様を訪問させていただき、復興に懸ける想いをお伺いしてまいりました。熊本城の修復には、まだまだ長い道のりがあると感じ

させられましたが、地元の方々の熊本城に寄せる熱い思いを感じ、長い年月がかかるとしても、熊本の復興の象徴として、間違いなく再び美しい姿を蘇らせることであろうと確信させられました。また、瑞鷹株式会社様からも、酒造りという地元の名産品に対する誇りや想いを通して、改めて職人の力強さやプライドに触れることができました。業種は違えど同じく地元の伝統工芸に携わる出向者たちも、同社の矜持に深く感銘とともに、和装産業を未来に繋いでいく想いを新たにしました。被災地の応援を兼ねて訪問した我々が、逆に励まされたような研修旅行となりました。



京都染織青年団体協議会



京都染織青年団体協議会加盟団体

京都織物卸商業組合青年部 京都呉服青年会 京都工芸染匠協同組合青年部
西陣織物産地問屋協同組合青年部会 京都友禅青年会議所 京都織物小売協同組合青年部

(順不同、敬称略、平成29年3月現在)

平成28年度 出向一覧

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 藤井 浩一(京都呉服青年会) | 安田 健太郎(京都呉服青年会) |
| 村井 洋仁(京都織物卸商業組合青年部) | 田中 友馬(京都織物卸商業組合青年部) |
| 澤田 篤志(京都工芸染匠協同組合青年部) | 藤澤 栄治(京都工芸染匠協同組合青年部) |
| 中山 芳太郎(京都織物小売協同組合青年部) | 西田 義隆(京都呉服青年会) |
| 東 孝幸(西陣織物産地問屋協同組合青年部会) | 加藤 義裕(京都呉服青年会) |
| 横田 武裕(京都友禅青年会議所) | 長谷川 浩一(西陣織物産地問屋協同組合青年部会) |
| 大塚 洋史(京都呉服青年会) | 日根野 孝司(京都友禅青年会議所) |
| 藤井 博孝(京都織物卸商業組合青年部会) | 片山 智之(京都織物小売協同組合青年部) |
| 北井 秀昌(京都呉服青年会) | 市川 昌史(京都工芸染匠協同組合青年部) |